

# 平成30年度 事業計画

〔 自 平成30年 4月 1日  
至 平成31年 3月31日 〕

平成30年度の景気動向については、5月の月例報告では、「景気は、緩やかに回復している。」とされ、先行きについては、「雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復が続くことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。」とされている。

また、国内の景気個別項目すべての判断を据え置き、企業収益、事業判断は、それぞれ、14か月、13か月連続改善しており、海外経済においては、米中貿易摩擦への懸念が高まり、今後、注視したいとしている。

これまでの政府の積極的な経済政策等や、海外の景気が緩やかに回復していることもあり、平成30年の年明けの日経平均株価は、23,000円を超えるなど、円安・株高の傾向が続き、2月に入って米国の長期金利利上げの影響により、日経平均株価は、急激に下落し21,000円台、また、円レートも100円台の円高になるなど乱高下が続いていたが、5月には、株価も回復し円安傾向となっている。

これらの背景において、今年度も大規模製造業の企業収益は、着実に見込まれている。

しかしながら、我々中小企業においては、人手不足感の拡大などに伴い、人件費や設備投資などの増加などにより、先行きの予想は慎重化する見方も多く占められている。

今後、企業収益を着実に確保し、地域経済の活性化につなげるため、福機連としては、今後の経済動向や国の経済施策等を注視しながら、会員及び組合員の経営発展と技術向上のため、平成30年度事業を次のとおり策定する。

## I 実施事業

引き続き、国・県等の公的目的団体が主催する「ものづくり」に関するイベント開催情報を提供し、技術力・経営力の向上を目指して積極的に参加し、イベントの後援、協賛団体として参加するとともに、周知徹底を図っていく。

また、行政施策等に関する情報提供を迅速かつ的確に行う。

### <近代化・高度化対策>

景気の先行き不透明感はあるが、依然としてゆるやかな回復基調が見込まれる中、好機をとらえて地域経済と雇用を担う中小製造業の発展につなげていくために、関係機関と連携をより強化するとともに、迅速で的確な情報収集に努めていく。

### <安定・振興対策>

(1) 国や県等が実施する融資制度や助成制度など、中小企業支援策について、迅速な情報提供に努める。

- (2) 労働福祉対策として、雇用対策や安全対策等に関する法令改正や施策等についての情報提供に努める。
- (3) 機関誌「福機連だより」を年2回発行・配布する。
- (4) 公的機関・団体が実施する技術研修の日程等の情報提供を行う。
- (5) 関係団体等が開催する研修会・講習会などについて情報提供を行う。

## II 共益事業

### <近代化・高度化対策>

- (1) (独)中小企業基盤整備機構九州本部・中小企業大学校直方校、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構福岡支部の各ポリテクセンター・大学校の「受講助成」及び「共同研修事業助成」については、成長戦略分野への進出やグローバルな競争が激しくなる中、ますます人材育成が重視されるため、引き続き実施する。
- (2) 「企業視察」については、類似機関の視察状況及び会員の要望等を参考に、会員企業の業務運営に資する訪問先を選定するとともに、参加経費の一部助成を行う。
- (3) 日本商工経済研究所発行の「景気予報」を年2回配布する。

### <安定・振興対策>

経済のグローバル化やめまぐるしく変わる中小製造業を巡る経済環境の中、組合員の企業安定・振興を図るため、次のような対策を推進する。

- (1) 関係団体等が開催する商談会等へ積極的に参加する。
- (2) 福機連の安定的運営や会員・組合員の問題点等について、県等に支援要請を行う。

## III その他の事業

### <組織強化対策>

- (1) 会員及び組合員確保に努める。
- (2) 各ブロックの円滑な事務処理に資するため、事務委託費を交付する。

### <収益事業>

福機連所有事務所（はかた近代ビル3階所在）を、福機連が母体となって設立した「福岡県機械金属工業厚生年金基金」に対して、これまで貸与していたが、本年6月をもって退去する予定であるため、新たに入居者を募集する。